

## 井川町「地域と学校の連携・協働体制構築事業」目標について

井川町では「地域と学校の連携・協働体制構築事業」として、地域学校協働活動推進員が中心となり、放課後子ども教室の実施や学校における地域指導者の活用推進を行っております。つぎのとおり目標を設定し、井川町の地域学校協働活動に励みます。

年 度	課 題	課題解決のために行う本事業での 取り組み	本事業で達成する 目標	目標の達成度を測る 指標	実績	実績に関する評価・分析	
令和5年度	地域学校協働活動推進員の活動が、放課後子ども教室の指導が中心であり、地域と学校を繋ぐコーディネート活動も同様に積極化したい。	学校、地域学校協働活動推進員、教育委員会事務局が連携し、授業への地域の人材活用を促進する。推進員が中心となり、地域人材の人材バンクを構築する。	地域学校協働本部が地域と学校を繋ぐ窓口として機能し、教員の負担を軽減すること。	地域学校協働活動推進員の学校での活動日数	10日	11日	目標の活動日数を達成し、目標以上に地域学校協働活動推進員のコーディネート力が発揮された。総合的な学習の時間や家庭科、生活科などの授業において地域人材を活用し、学校の教員のみでは指導が難しい、地域伝統や専門的な知識を要する内容の授業を実施できた。
令和6年度	学校の先生では教えることができない地域の伝統や専門的な技術が必要なものについて、継続的な地域人材の活用と支援が必要である。	昨年度に引き続き、学校の授業に地域人材を活用する。昨年度と同じ内容の授業であっても、対象児童や担任の先生は昨年度と異なるため、地域学校協働活動推進員がリードし、授業への地域人材の活用を促進する。	地域学校協働本部が地域と学校をつなぐ窓口として機能し、地域連携が定着すること。	地域学校協働活動推進員の学校での活動日数	12日		